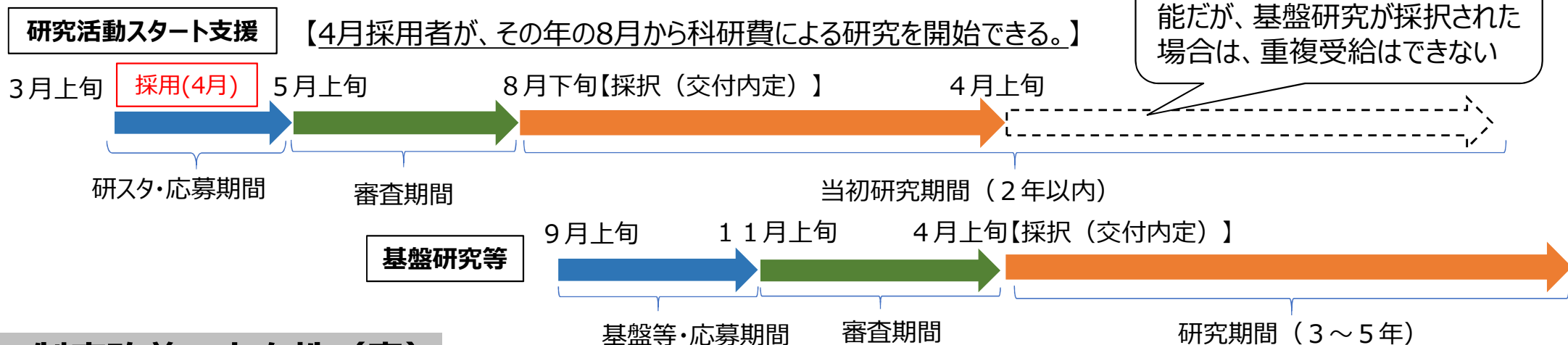


1. 「研究活動スタート支援」の公募内容

- 対 象 : 前年秋の公募時期に応募できなかった研究者が一人で行う研究計画であって、その研究活動のスタートを支援することにより、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究計画
- 応募総額 : 単年度当たり150 万円以下
- 研究期間 : 2 年以内
- 応募要件 : 科学研究費助成事業の応募資格を有するほか、次の応募要件 A) 又は B) のいずれかに該当することが必要。
 - A) 9月に公募を行う研究種目の応募締切日（1 1月）の翌日以降に科学研究費助成事業の応募資格を得たため、当該研究種目に応募できなかった者
 - B) 産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、9月に公募を行う研究種目に応募できなかった者

2. 現状の公募～審査～研究のスケジュール



研スタ採択者も重複応募が可能だが、基盤研究が採択された場合は、重複受給はできない

3. 制度改善の方向性（案）

➡ 新しい、柔軟な発想を持った採用直後の研究者に一層の挑戦を促すため、他種目との**重複受給制限を緩和**

- 「研究活動スタート支援」は、採択者に占める若手研究者比率が非常に高く（H30実績：約85%）、**若手研究者のチャレンジの機会を促進し、研究環境の更なる向上に向けた制度改善**として、有益な取組ではないか。
- 重複受給制限を課して8月下旬の採択から約7ヶ月間で廃止するより、**当初計画に基づいて研究を継続させることが、効果的な研究実施に資する**のではないかと（令和元年度予算からの「研究活動スタート支援」の基金化を契機として受給制限を見直してはどうか）。